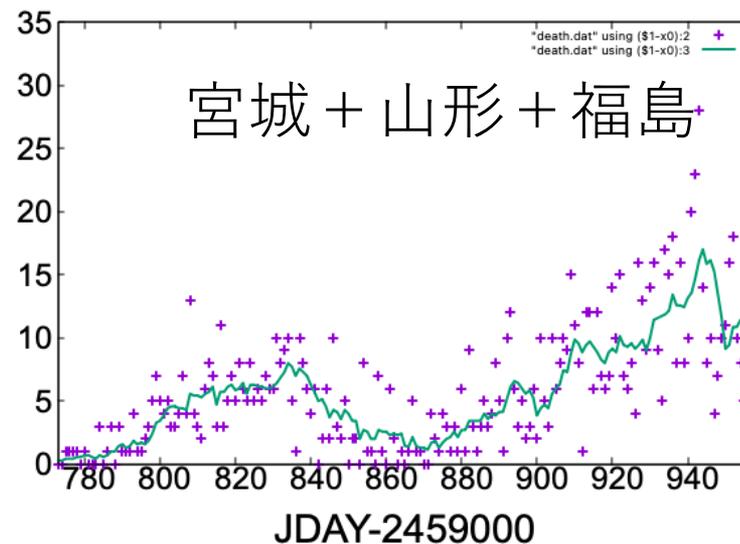
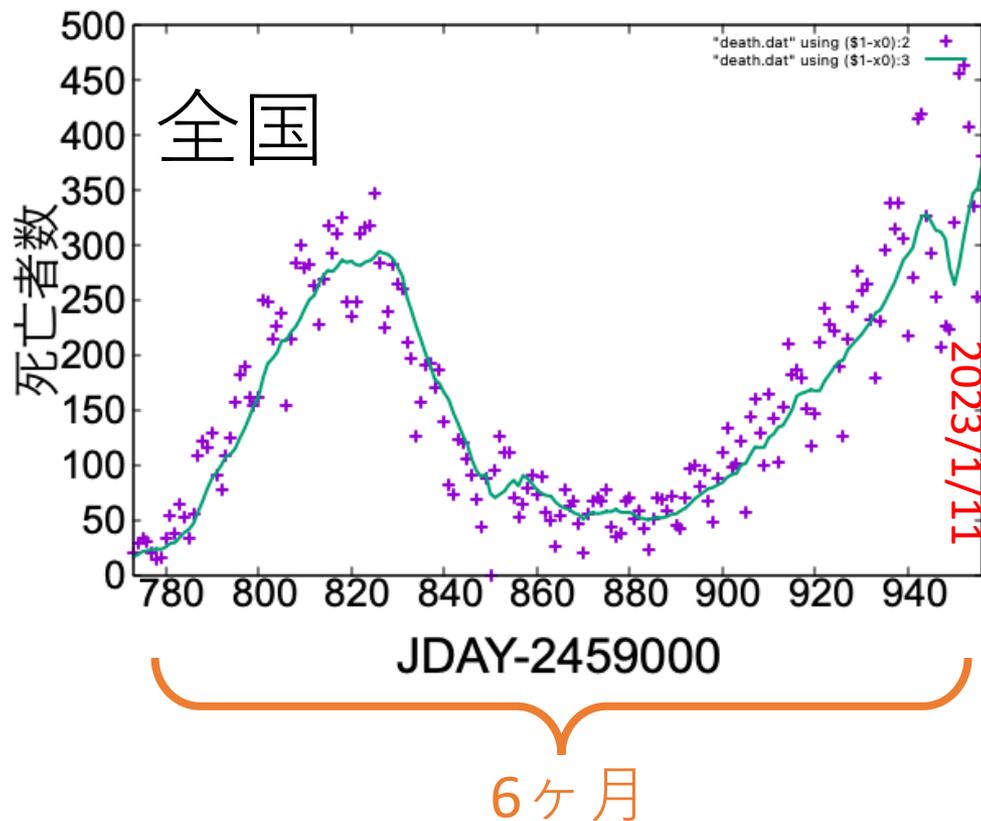


最近の感染状況 2023年1月11日までのデータ

感染数(新規陽性者数)は信頼性がないので、死亡数で見えています。
過去6ヶ月間の推移。点はその日の死亡数、線は7日間の平均(移動平均)

感染拡大が続いている。

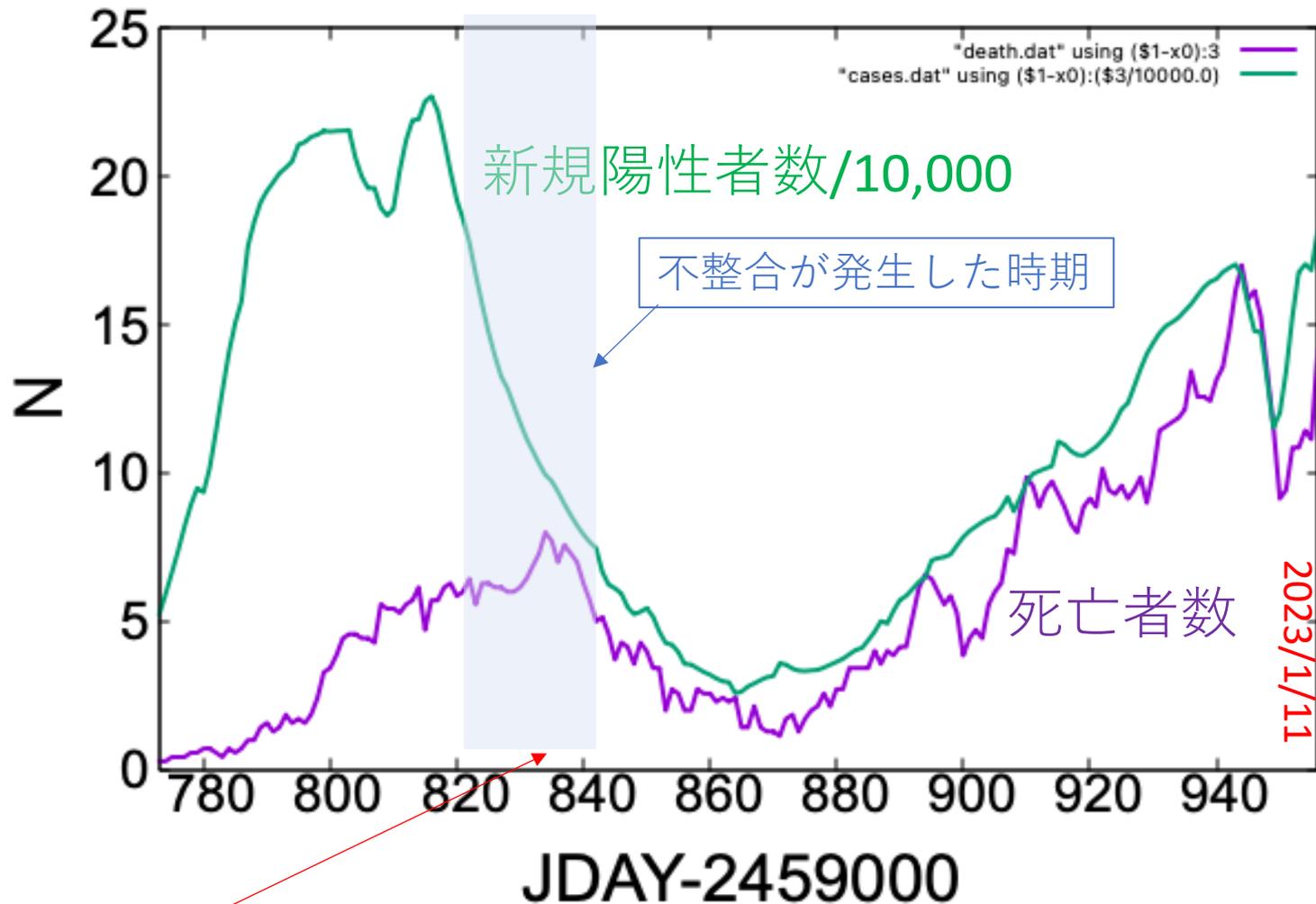


データは正直。
新規陽性者数と死亡者数を比べると新規陽性者数の報告が
実態とどれくらいずれているかが極めてはっきりとわかる。
以下のページの二つのグラフ。

結論：新規養成者数の実態値（一部報告義務がなくなる
2022年9月以前の方法で測定できたとした場合の値）は現
在の報告値の約4倍であると考えられる。

例えば、宮城県の場合、報告される新規陽性者は2500人程度。4倍すると、
実際に新規感染者は1万人程度になる。ウイルスを持ったまま、活動をして
いる期間を平均5日とすると、ウイルスを持ったまま活動している人は5
万人程度であり、宮城県の人口が230万人なので、100人で集会すれば二
人程度は感染したたまその集会に出ているという勘定になる。

陽性者数の信頼性のテスト コロナ感染死亡率が一定であるならば、新規陽性者数と死亡者数は並行して遷移するはずである。下図をみると感染者数の全数把握をやめた9月8日前後以降 新規陽性者数の1万分の1と死亡者数はほぼ一定になっている。**感染症としての死亡率の著しい変化はない**ようだ。一方、それ以前において、新規陽性者数の20万分の1がほぼ死亡数に等しくなっている。



令和4年9月8日新型コロナウイルス感染症政府対策本部決定

死亡者数/新規養成者数 (比) をみるとこの5ヶ月余りは $1/12,500$ とほぼ一定である。一方、検査がきちんと報告されていた時期は、 $1/50,000$ であった。従って、現在の報告される新規陽性者数を4倍すれば実際の新規養成者数になると思われる。

死亡者数/新規養成者数

